

学校だより

# 牧小だより

令和6年度 11月号

校訓「かしこく なかよく たくましく」

児童数51人、職員14人、P戸39戸

霧島市立牧園小学校〈編集・発行〉

HP:<http://www2.synapse.ne.jp/makisho/>

## 地名に残る神話

校長 馬庭 直樹

霧島・牧園は「神話の里」と呼ばれています。子供たちもそのことを誇りに思ってくれているとよいのですが……。先日、子供たちの何人かに、「学校の近くに祝橋ってあるけど、どうして『祝橋』って名前が付いたの？」と尋ねてみました。さすがに、詳しい由来を知っている子供はいませんでした。それに加えて、祝橋温泉の裏山が「小碓城跡」と呼ばれていることを知っている子供たちも皆無でした。

小碓城跡と祝橋には深いつながりがあります。今日は、そのお話をし、保護者の皆様の「牧園愛」を深めていければと思います。それでは、始まり始まり。

第12代・景行(ケイコウ)天皇は、近畿地方にあった大和朝廷から日向の国までやってきて、自ら熊襲征伐をするような豪傑の天皇でした。その天皇には子供が80人もいたといわれますが、そのうちの2人の皇子に、大碓皇子(オオウスノミコ)と小碓皇子(オウスノミコ)がいました。

ある日、五日間も食事に出て来ない兄の大碓皇子を心配して、弟の小碓皇子に「ねぎし教えよ。」と伝えます。「ねぎし」とは「優しく、きちんと」という意味なのですが、小碓皇子は「ねぎり(根切り)」と勘違いして兄の大碓皇子をねじり殺してしまいます。そんな小碓皇子に恐怖を覚えた景行天皇は、小碓皇子に熊襲征伐を命じることにしました。遠ざけたかたんでしょね。

熊襲征伐を命じられた小碓皇子は16歳くらいの女性のような顔立ちだったそうです。逆に、熊襲は筋骨隆々で髭ぼうぼうの毛むくじゃら、目玉ぎょろりの大男たちだったそうです。その熊襲一族を束ねていたのが川上タケル(『古事記』では熊襲タケル)という人物でした。(『古事記』では同じ名前の兄弟とされています。)

まともに戦っては絶対に勝てない相手ですので、作戦を立てるための本拠地にしたのが「小碓城」だったのです。小碓皇子は熊襲たちが新しい城を立てたお祝いをするという情報を聞き、それに紛れ込む作戦を立てました。小碓皇子はその顔立ちから女装して川上タケルに近づき、お酒を注ぐふりをして熊襲一族を征伐することに成功しました。川上タケルから「お前は誰だ！」と聞かれた小碓皇子は「倭童男(ヤマトオグナ)！」と答えます。倭童男は小碓皇子の別名だといわれていますが、女装していた小碓皇子が「男だよ！」と答えた気がしないでもないのですが……。ともあれ、自分を倒した「倭童男(ヤマトオグナ)」に敬意を表した川上タケルは、「お前に俺の名前を贈る。これからはヤマトタケルと名乗れ。」と言い残します。ここにヤマトタケルが誕生したのです。

熊襲を倒した小碓皇子ことヤマトタケルは、小碓城の入口の橋のところで戦勝の祝いをしました。それが「祝橋」です。そのときに久米舞を踊られたので、牧園周辺は「踊(おどり)」あるいは「踊郷(おどりごう)」と呼ばれるようになったとのこと。

残念ながら、このヤマトタケルは皇子ではありませんでしたが、天皇になることはありませんでした。日本統一のために全国で戦い、そして亡くなってしまいました。別の兄弟が第13代の天皇になりますが、ヤマトタケルの息子が第14代の仲哀(チュウアイ)天皇として天皇の位を継いでいくこととなります。

約二千年前の神話が地名として脈々と受け継がれているのが、この霧島・牧園ではないでしょうか。子供たちの一人一人がこの牧園に自信と誇りをもって、毎日を過ごしてくれることを望みます。

## 思い出に残る校外学習

10月25日(金)の校外学習(生活科・社会科)で、1・2年生は「かごしまメルヘン館」へ、3・4年生は「かごしま環境未来館」へ、5・6年生は「仙巖園」へそれぞれ出掛け、施設内の見学や体験活動を心ゆくまま楽しむ姿が見られました。



## 自分たちの地域をきれいに!

10月21日(月)の朝活動の時間に、全校児童で地域清掃ボランティア活動に取り組みました。学校敷地周辺の歩道をきれいにしようと、全員が額に汗をかきながら、一生懸命頑張りました。



## 大好評の給食試食会

11月1日(金)に、食育講座(家庭教育学級)の一環として、給食試食会を開催しました。当日は、約10名の希望する保護者の方と学校評議員の皆さんが参加されました。栄養バランスをしっかりと考えて作られた献立を試食して、「とてもおいしかった。」との感想が多く寄せられました。



## 「心の教育」の更なる充実に向けて!

11月1日(木)に、本校設定の「心の教育の日」週間に合わせて、道徳の授業参観を実施しました。3・4年生では、「親切、思いやり」の内容について、友達同士で意見を交流する中、多様な感じ方や考え方に触れ、自らの考えを深める様子が見られました。他の学級においても、自分自身の生き方をしっかりと振り返る姿が見られました。



## 「なわとび大会」を開催します!

今年も、子どもたちの日常の体力づくりや体育学習の成果を発表する機会として、「なわとび大会」を開催します。今年も、12月6日(金)に実施します。全校児童がお互いの頑張りを称え、体力・健康づくりへの意欲や関心を高めることを願っています。当日は、家庭教育学級や全体PTAも実施しますので、ぜひご参加くださるようお願いいたします。

《昨年度の大会の様子》



## 【12月6日(金)の主な日程】

- 13:40~14:25 なわとび大会
- 14:25~14:35 帰りの会
- 14:30~15:10 家庭教育学級  
※手話等を含む講話  
(講師: 外山 純 先生)
- 15:20~15:40 全体PTA  
(冬休みの過ごし方等)
- 15:45~16:10 学級PTA(1~4年)  
教育相談(5・6年、あすなろ)
- 16:15~16:40 学級PTA  
(5・6年、あすなろ)  
教育相談(1~4年)

## 【12月の主な行事予定】

2日(月)	B校時(～23日まで) / 命の教育の日	14日(土)	土曜授業日 / クラブ活動見学(2年)
3日(火)	人権集会	17日(火)	すすかけ号来校
6日(金)	なわとび大会(授業参観) 学級PTA / 教育相談 全体PTA / 家庭教育学級	24日(火)	終業式 / 大掃除 / 集団下校
		25日(水)	冬休み(～1月7日まで)
13日(金)	落ち葉そうじ(全学年)	28日(土)	学校閉庁期間
		～1月5日(日)	